

# 一戸町商工会経営発達支援計画事業評価表

| 外部評価者による事業評価<br>(事業評価委員会)          | 項 目                                  | 評 価       |           |           |           | 総合評価 |  |
|------------------------------------|--------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|--|
|                                    | I. 経営発達支援計画事業の内容                     |           |           |           |           |      | B<br>(10項目の<br>平均により<br>算出)<br><br>B評価<br>(5人) |
|                                    | 1. 地域の経済動向調査に関する事                    | A<br>(3人) | B<br>(2人) | C         | D         |      |  |
|                                    | 2. 経営状況の分析に関する事                      | A<br>(4人) | B<br>(1人) | C         | D         |      |  |
|                                    | 3. 事業計画の策定支援に関する事                    | A         | B<br>(3人) | C<br>(2人) | D         |      |  |
|                                    | 4. 事業計画策定後の実施支援に関する事                 | A<br>(1人) | B<br>(3人) | C         | D<br>(1人) |      |  |
|                                    | 5. 需要動向調査に関する事                       | A         | B<br>(1人) | C<br>(1人) | D<br>(3人) |      |  |
|                                    | 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事              | A         | B<br>(2人) | C<br>(3人) | D         |      |  |
|                                    | II. 地域経済の活性化に資する取り組み                 |           | A<br>(1人) | B<br>(1人) | C<br>(3人) | D    |  |
|                                    | III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み |           |           |           |           |      |  |
| 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事 | A<br>(5人)                            | B         | C         | D         |           |      |  |
| 2. 経営指導員等の資質向上等に関する事               | A<br>(5人)                            | B         | C         | D         |           |      |  |
| 3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事        | A<br>(3人)                            | B<br>(2人) | C         | D         |           |      |  |

## 平成 29 年度事業全体のコメント

(全体について)

- ・補助金で採択されなかった需要動向調査など、一部に実施できていない取り組みがあるものの、個社支援に向けた一連の支援に向けて努力が重ねられている状況にあると思われます。今後の補助金は、より限定的になる状況にあると思われますが、関係機関との連携強化と共に、支援ノウハウの蓄積、専門性向上を図りながら、事業を進めて頂きたいと思われます。
- ・需要動向調査や、販路開拓に資する取り組みで未実施となってしまう項目があるので、改善されたい。
- ・農業者は、商工業者になりうる潜在会員として意欲的な事業所もあることから、セミナーの周知方法を工夫するなど今後の取り組みに期待したい。
- ・事業年度としては2年目となる平成29年度の事業評価について、一戸町においては、近年、特に商業の廃止が多く見受けられることに鑑み、I-3 (3) の特に「事業承継」へのアプローチに期待していたところである。成果では目標指数を上回っていたようであり評価できるものと考えるが、事業者の個別の都合などにより継承が難しいものの方が多いと推察されるため、同項の「創業・起業」に関しても注力いただく必要があると考えるが、セミナーの開催が行われなかった点などが残念である。
- ・実施できなかったセミナー等はあるものの、巡回や個別指導の回数では目標値を大きく上回っている指標もあり、評価できる。限られた職員で多くの事業を実施していくことは大変であると理解しているが、ホームページの更新については、起業・創業案件の発掘に向け、若年層へ情報を届けるには欠かせないツールであることから、更新頻度の確保に努められたい。
- ・第2年度であるが、経営内容に深く関わるように巡回指導の強化に努めており、小規模事業者特有の経営課題の把握に努め、個別指導や講習会の開催など各種支援策なども確実に実施しているが、一部の目標には取り組みができていないものもあり、A評価に近いB評価とした。

(評価報告書の記載について)

- ・各目標に対する実績値と、それらについてのA～D評価については、前回委員会の検討内容をふまえて修正されており、適切な内容となっています。ただし、評価の記載形式及び内容について、委員会の際には気づかなかったこととして、計画書の各項目(1)～(n)の記載内容と表に記載された実績値が一致しない、あるいは実績値の内訳説明になっていない部分がある点の改善、工夫が必要と思われます。また、各項目(1)～(n)右の欄に「評価」が記載されていますが、これらについて、数値目標と実績値の比較がされないもの(目標数値のないもの)については、A～D評価の根拠が曖昧なものがあることから、この部分の評価を記さずに、表に掲げた目標と実績のみを対象にA～Dを記した方が良いのではないかと考えます。あるいは、各項目に、表に記した目標値とは別に、数値目標を追加で設置して実績を記すなど、次年度に向けて、改善検討が必要と考えます。特に、「Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施

に向けた支援力向上のための取り組み」については、計画に記されている内容から、目標と実績の表を設定（作成して追加）して、達成状況を記す形式にしたほうが分かりやすいと思われます。これらの点、ご検討下さい。

（項目ごとに気になった点について）

## I. 経営発達支援計画事業の内容

1. 各項目の目標は達成されている。今後、各種調査結果に関しては、個社支援への活用について、意識的に取り組まれることを期待する。
2. 計画の内容と実施内容が必ずしも一致していない部分がある印象です。目標値に対する実績値の説明を記す必要があると思います。例えば、経営分析に関する巡回件数：121件に対して、実績内容では、巡回指導：1,164件となっており、121件の説明が必要と思います。
3. 事業計画策定事業者数実績値：39件について、その内訳が分かる内容を記した方が、分かりやすいと思います。
4. 同じく、実績内容の記載と実績値の対応について、一致しているかどうか、各項目の再確認をお願いします。専門家派遣回数については、実績値19件は実態があるものと思われますが、その内訳について、実績内容に記されていると分かりやすいと思います。
5. 需要動向調査について、予算が付かず未実施という事情は理解できます。同時に、首都圏でのバイヤーヒアリング実施と記されているように、予算ゼロでも実施する内容への変更について、次年度に向けて工夫する必要があると思います。
6. 計画で例示した商談会への出展が難しいと判断された場合は、別の機会を設定するなどの柔軟な対応が必要と考えます。平成29年度は、商談を重視した取り組み実績がみられることから、商談の機会を重ねて成約件数を増やすことで、売上高が伸びることをめざす計画の方向性に沿って、今後、さらに取り組みを進めて実績値の上乗せを期待します。

## II. 地域経済の活性化に資する取り組み

- ・新規の取り組みができなかった点を振りかえると共に、今後については、年度計画として、関係機関との連携を図るなど、計画的に取り組んでいく必要があると思われます。
- ・地域経済活性化に資する取り組みについては、行政との連携が不可欠である。

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

- ・各項目共に、計画に沿った取り組みが行われているものと判断される内容となっています。支援力の向上に向けては、情報の共有を図り、全職員による指導・助言ができる指導体制づくりの取り組みを継続することを期待します。

### 平成 30 年度に向けた改善点

- ・前述した平成 29 年度事業についての各コメントに沿って見直しを検討し、各項目についての改善を進めて頂きたいと思っております。また、地域経済動向調査、需要動向調査など、補助金による事業費の確保が難しいものについて、どのような対応をしていくか、十分な検討と工夫が必要とされます。なお、商談会の開催については、岩手県産株式会社の協力を得て、近隣の商工会と合同で商談会を開催することも可能なことから、ゼロ予算でもできる取り組みとして実施を検討頂きたいと思っております。
- ・小規模事業者の事業計画の策定を支援し、小規模事業者ごとにどのような成果が上がったのかが重要であることから、フォローアップの際には、事業の進捗状況や、成果の把握に努めること。
- ・需要動向調査については、商談会や物産展への出展の際に併せて実施することや、経営革新等の個社支援の際に、調査した実績も併せてカウントするなど工夫が必要である。
- ・経営発達支援事業は、商工会が重点的に進めていく事業であるので、商工会の既存事業の見直しを進められたい。
- ・これまでの事業を引き続き実施していただくとともに、特に商業機能の維持・拡充を図っていただきたいと考える。そのためにも、意欲ある事業者による既存商店街の活用方策（廃業した店舗も含め）を早急に定めることで、地元住民の利便性向上へ向けた取り組みへと繋がるよう、本事業が有効に実施されることを期待するものである。
- ・各種セミナー等の実施については、計画・目標の実現に向け、隣接エリアの商工会や関係機関との連携等、更なる工夫を検討されたい。また、事業評価委員会の開催時期を早めるなど、年度途中での進捗状況に応じて計画を調整する機会を設けられたい。

- ・ 農業者向け新事業展開支援事業については、農業者に対し創業や法人化支援を挙げているが、当面は農産物直売所等の商業分野に特化して、経営課題の把握や個別指導など、商工会独自のスキルを活かした経営支援を行うことを検討すべきではないか。

## 今後に向けての対応

- ・ 評価委員から指摘のあった事業について、見直しを図り、次年度の事業の改善を図る。
- ・ 来年度は、経営発達支援計画が3年目の年なので、未実施の内容を含め、見直しを図りながら事業を実施していく。
- ・ 職員の減少により、既存事業、受託事業等、事業の見直しをかけて事業の廃止や峻別、縮小をしていかなければ、計画の目標達成は、非常に難しいと考えるので、計画的な事業推進を図るよう取り組んでいく。